

ヤンバルクイナ等 移動分断対策について

ヤンバルクイナ等小動物のロードキル対策について、有識者・専門家・関係機関等と協議した結果、現在の知見では、道路進入防止対策、道路下横断路を検討し「ヤンバルクイナ等の小動物と自動車が出会わない道路構造」を導入することが効果的であると判断されました。

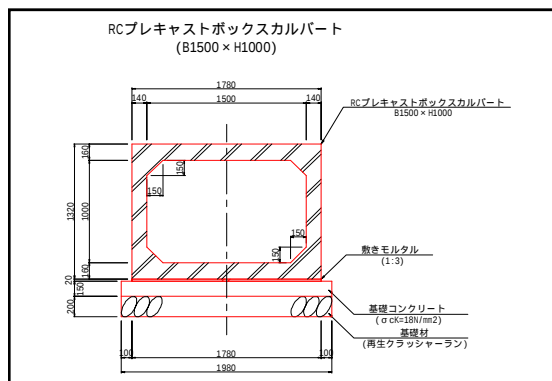
道路への進入対策としてクイナフェンスを設置しておりますが、移動分断に繋がる懸念がありました。そのため、ヤンバルクイナのロードキル発生位置、生息位置等を考慮して、試験的に道路下に横断通路（以下クイナトンネル）の設置を行いました。今年1月にクイナトンネル（1基）が完成し、繁殖期初期の3月から適宜モニタリング調査を実施しております。

【設置箇所】

国道58号 国頭村辺戸

【クイナトンネル形状】

高さ 1.0m、幅 1.5m、延長 12m
道路面から 1.2～1.7m 下に設置



【モニタリング調査】

繁殖期初期の3月1日～14日の約2週間調査実施→ヤンバルクイナの通過はなし

繁殖期中期の4月下旬より再度調査開始（現在も調査中）→ヤンバルクイナの通過確認

4月20日（火）進入確認

4月28日（水）通過確認

以降 複数回確認



【通過前】



【通過後】

← つがいと思われるヤンバルクイナ